



## 読書感想文を書こう!

読書感想文を書くための本を選ぶときに参考になる本や、文章の書き方を教えてくれる本を紹介します。

※各ページの（）内の番号は請求記号（本のラベルの番号）です。

### 1 まずは本を決めよう!

自分で好きな本を選んで読む自由読書と、コンクールの主催者などが指定した本から選んで読む課題読書があります。

課題読書を選んだ人や、もう読みたい本が決まっている人は早速読んでみましょう。

本が決まらないという人は、図書館で読みたい本を探してみましょう。

以下では、本の探し方のヒントになりそうな本を紹介します。

#### 『いつか君に出会ってほしい本』 田村 文／著 河出書房新社 2023 (019/5/108)

著者が「人生のどこかで出会ってほしい」と心から思う158冊を選び抜いたブックガイドです。多彩なジャンルの本が幅広く取り上げられています。

#### 『YA図書総目録』 YA出版会 (028/09R/20)

YA出版会が全国の出版社から刊行されたYA関連図書の情報をまとめたもので、ジャンルやテーマごとの分類が工夫されているため、本選びの参考として役立ちます。

#### 『ヤングアダルトの本』 日外アソシエーツ株式会社／編

##### 日外アソシエーツ (028/09R/22)

「SDGs(持続可能な開発目標)を理解するための3000冊」や「将来の仕事・資格に出会う3000冊」、「悩みや不安迷ったときに読む4000冊」、「いま読みたい小説4000冊」、「高校教科書の文学3000冊」、「部活をきわめる3000冊」などのシリーズがあり、たくさん本が紹介されています。

上記『YA図書総目録』、『ヤングアダルトの本』は貸出できませんが、別室カウンター横に配架していますので、自由に読むことができます。

県立図書館の青少年コーナーでは、季節やテーマに合わせた展示を行っています。自分の興味がある本を青少年コーナーのホームページから探してみるのもいいでしょう。

☆青少年コーナーのHP おすすめの本

[https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/setting/page\\_id869/page\\_id859?frame\\_id=1433](https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/setting/page_id869/page_id859?frame_id=1433)



## 2 実際に書いてみよう！

読み終わったら、いよいよ読書感想文に取りかかります。

しかし、思ったこと、感じたことをただ自由に羅列すればいいという訳ではありません。

読みやすい文章になるように、文章を書く時のルールや原稿用紙の使い方などに注意しましょう。

### 『放課後の文章教室』 小手鞠 るい／著 偕成社 2019 (816//309)

小説家であり、書くことが好きだという著者が、文章や書くことについて寄せられた質問に対して答えた本です。

### 『めんどくさがりなきみのための文章教室』

はやみね かおる／著 飛鳥新社 2020 (816//317)

『都会のトム&ソーヤ』シリーズを描く著者。作文が苦手な中学2年生の少年と、小説家に飼われていたという不思議な猫との関係を通して、文章の書き方を学ぶことができます。

### 『読み手に届く文章技術』 石黒 圭／著 筑摩書房 2025 (816//350)

読み手の視点に立った文章の組み立て方を、豊富な具体例とともに解説し、文章がどうすれば“届く”のかを理論と実践の両面から示してくれます

### 『作文ぎらいのための文章教室』 飯田 一史／著 星海社 2025 (816//353)

「作文が苦手」「何を書けばいいかわからない」と感じている人のための文章入門書です。書くための素材の集め方や、考えを整理する方法が具体的に解説されています。

青少年読書感想文全国コンクールのHPに掲載してある

「感想文Q&A」でも、本や書き方について知ることができます。

☆青少年読書感想文全国コンクールのHP <https://www.dokusyokansoubun.jp/>



インターネットで他の人が書いた文章を少しだけ変えて読書感想文を書いても、それはあなたの読書感想文ではありません。きちんと自分の言葉で書くようにしましょう。

### 〈調べる時の注意事項〉



- ①本に書いてあることもインターネットの情報も全てが正確な情報とは限りません。必ず複数の本・ウェブサイトなどで確認をしましょう。
- ②自分が調べた本はそのタイトル・出版社・出版年を、サイトなどはURL、見た日などを必ず記録しておきましょう。
- ③福岡県立図書館には、調べもの用にインターネット情報を検索できるパソコンがあります。使用する際はカウンターへお尋ねください。